

製品名: RNF7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83745**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	13 kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF7
別名	CKBBP1; Rbx2; RNF7; ROC2; SAG;;RNF7
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UBF6
免疫原	ヒト RNF7 由来の合成ペプチド

背景

細胞周期の進行、シグナル伝達、転写に関与する標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する SCF

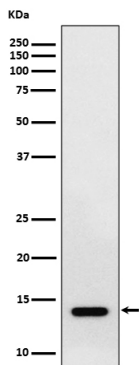
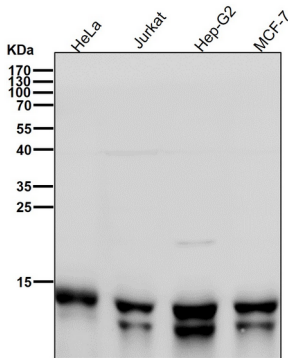
(SKP1-CUL1-F ボックス タンパク質) E3 ユビキチン リガーゼ複合体の推定成分。CRL 複合体と ARIH1 は連携して標的タンパク質のユビキチン化を媒介し、ARIH1 は CRL 標的への最初のユビキチンの追加を媒介します。

研究分野

-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



HepG2 細胞溶解物中の RNF7 発現のウェスタン ブロット分析。